

## 次世代空圧インジェクター IM-11-2

従来、空圧のインジェクターでは操作に対するレスポンスがオイルに比べて悪く、ホールド側でしか使えないと思われていました。

しかし、次世代型の空圧式マイクロインジェクター、IM-11-2は操作に対するレスポンスをナリシゲの技術とアイデアで高め、オイル式と遜色ない操作感で微小サンプルの吸引・吐き出しが高精度に、簡単に行えるようになりました。

また、試料を保持した状態で圧力変化性を変えることにより、レスポンスを調整することが出来るという空圧式ならではの新しいメリットを生み出しました。

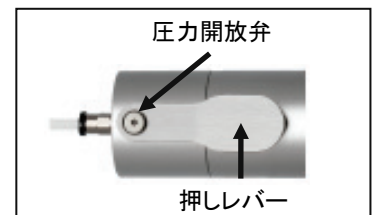
今回のウェブニュースでは、そのIM-11-2の機能と特色をご紹介します。



IM-11-2

### ワンプッシュで動作する圧力開放弁

押せば開放、離せば密閉する圧力開放弁を採用しました。従来のノブを締め込む形(CI-3)に比べ、使いやすさ、信頼性、耐久性が格段に向上しました。ハンドルを回し圧力を高めた後、実際に操作する前のピペットの境界面調整や後述するシリンジサイズ調整が簡単に行えます。



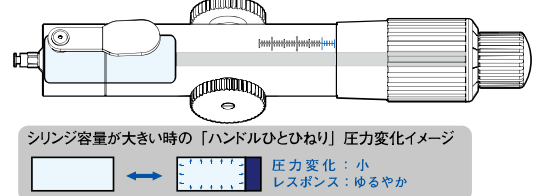
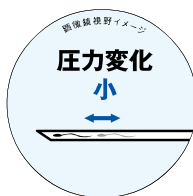
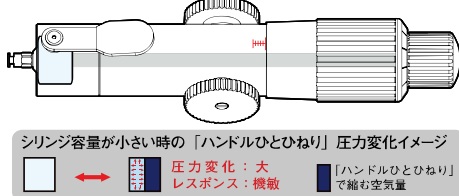
### シリンジサイズ調整で好みの操作感に調整

空圧式インジェクターの大きなメリット。それは、シリンジサイズを変えることでピペット先端部の圧力変化性を調整出来る事です。使い勝手が向上した圧力開放弁により、容易に操作感を好みに合わせる事が出来ます。試料を保持した状態でも、圧力開放弁を開きながらハンドルを前方、または後方にすることで、レスポンスを調整することが出来ます。\*

\* 圧力開放弁を押した際、毛細管現象で吸い上げが起きる事があります。その場合は陽圧を少しかけると収まります。

ハンドル位置が前方(シリンジ容量小さい)→レスポンスが機敏に

ハンドル位置が後方(シリンジ容量大きい)→レスポンスがゆるやかに



### 大きな可動域、幅広い圧力変化性<sup>\*1</sup>

IM-11-2は可動域の大きいロングシリンジ<sup>\*2</sup>と粗微動ハンドルの採用により、ハンドル1回転あたりの圧力変化量が約25倍<sup>\*3</sup>。組み合わせることによって、幅広い圧力変化性を作り出すことが出来ます。



<sup>\*1</sup> マイクロインジェクション用途の市販空圧式マイクロインジェクターにおいて(当社調べ)

<sup>\*2</sup> 最大40mm(粗動部約30mm、微動部約17mm)

<sup>\*3</sup> 先端部5mmで粗動使用と後端部5mmで使用した場合の圧力変化性が5倍、微動ハンドルと粗動ハンドルの1回転あたりの差が5倍(当社調べ)

空圧式のインジェクターであるIM-11-2は、オイル式と違いメンテナンスが楽で、オイルによる汚れが起きないというメリットもあり、お勧めしております。もしご自分の用途に使えるかどうか試したいと思われた方は、デモ機をご用意しておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

※日本向けにIM-11-2から微動ハンドルを外し、サイズをコンパクトにしたレスポンス重視タイプのIM-12もございます。

※アメリカで臨床向けにご利用の場合には弊社までお問い合わせください。

ご不明な点等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

ナリシゲウェブサイト

URL: <http://www.narishige.co.jp/>